

平成19年度第2回川崎区区民会議

日 時 平成19年10月16日(火)午後6時30分

場 所 川崎区役所7階第1会議室

出席者(敬称略)

(1) 委員 14名

須山令子、吉邨泰弘、森教祐、古川博子、猪熊俊夫、金岩勇夫、中村紀子、藍原晃、島田潤二、田辺富夫、魚津利興、朴栄子、荒井敬八、星川孝宜

(2) 参与 2名

市議会議員：飯塚正良

県議会議員：武田郁三郎

午後 6時30分 開 会

1 開 会

事務局 <会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明>

2 委員長あいさつ

委員長 5月に開催した第1回全体会議から今日までの間に、地域防災部会、シニアパワー部会ともそれぞれ2回の部会を開催して審議をしたので、後ほど各部会長から報告をして欲しい。本日はその部会報告を受けて、審議テーマである「地域コミュニティの充実」のために、具体的にどのような取り組みをしたらよいか審議して欲しい。

第1回全体会議で承認していただいたとおり、区民会議の趣旨や目的などを区民に周知し、一人でも多くの区民の意見を吸い上げるため、区民会議集会企画案を提示するので、併せて審議をお願いする。

事務局 <本日のスケジュールの説明、配布資料の確認>

3 議 題

(1) 地域コミュニティの充実について

- ・ 地域防災部会からの報告
- ・ シニアパワー部会からの報告

委員長 議事の前に区民会議のこれまでの取り組み成果をスライドにまとめてあるので、

副委員長に報告をお願いします。

副委員長 <第1期川崎区区民会議これまでの取り組み成果を報告>

委員長 子どもの安全・安心の取り組みについて、事務局に補足説明をお願いします。

事務局 <こども安全の日の見守り活動、青色回転灯装着車による自主防犯活動、防犯パトロール用品の貸出制度を説明>

委員長 本日は時間の関係もあり、取り組みの一部しか紹介できないが、各委員をはじめとして多くの団体、機関の協力をいただいた。この場を借りて感謝したい。

審議に移るが、審議テーマである「地域コミュニティの充実」について地域防災部会、シニアパワー部会の報告をお願いします。まず、地域防災部会長に報告をお願いします。

地域防災部会長 <第2回地域防災部会の審議内容を報告>

委員長 次にシニアパワー部会長に報告をお願いします。

シニアパワー部会長 <第2回シニアパワー部会の審議内容を報告>

委員長 両部会長に部会の審議内容の報告をしてもらったが、地域コミュニティの充実のためには、地域の基礎的な団体である町内会、自治会やさまざまな地域活動を活性化することが重要である。今の報告を基に具体的な取り組みを審議して欲しい。

最終的には、昨年度同様、誰がいつまでに何をどのようにするかを明記した実行計画を作成したいと思う。

委員 地域防災について、市民救命士を増やした方がいいと思う。防災訓練も必要だと思う。地域防災部会で事例紹介があったが、四谷地区では四谷小学校で宿泊防災訓練を実施したとのことである。

委員長 地域防災部会で事例紹介された内容を知らない人もいたので、部会で紹介してくれた委員から宿泊防災訓練の説明をして欲しい。

委員 四谷小学校で宿泊防災訓練を実施した。段ボールでテーブルをつくったり、ピンで手作りランプをつくって一晩その明かりで過ごしたり、豚汁をつくったりした。地域の

人同士の触れ合いがあったので、実施してとてもよかったと思う。

委員長 訓練することは非常に大事だと思う。マニュアルなどに書かれたことを実行しようとしてもなかなかうまくいかないの、日ごろの訓練が役に立つと思う。

シニアパワー部会ではシルバーリハビリ体操の事例紹介があったので、これも紹介してくれた委員から内容を説明して欲しい。

委員 シルバーリハビリ体操とは、茨城県立健康プラザ管理者の大田仁史先生が考案した介護予防のための体操である。茨城県は県民に体操の指導士になってもらい、県全域に体操を普及しようとシルバーリハビリ体操指導士養成事業を実施している。会社を退職したシルバー人材、団塊の世代などが指導士として各地域で体操を普及させて介護予防をする。

県民自らが県民を指導することがポイントで、団塊の世代の人は教わるよりも教えたという意欲の強い人が多いので、指導者になりたいという意欲も非常に強い。川崎区では体育指導員を中心に協力してもらい、指導をしたらよいと思う。

シルバーリハビリ体操は、日常生活の動作がぎこちない人や肩、ひざなど運動器官に慢性的な痛みがある高齢者を対象に筋肉強化などを行って、体力の向上や維持を図るのが目的である。

指導士養成講座を開催して、その受講者を指導士に認定している。現在約2,000人が認定されているが、2015年までに1万人を養成したいとのことである。

行政が主導するのではなく、市民自らが指導士になって高齢者を支え合っていくという介護予防の観点からも、また人材活用の面からもよい事業だと思う。1つの提案として事例紹介をした。

委員長 シニア世代の人に集まってもらうのはなかなか難しいので、マラソンなどの大会を開いたらどうかという意見があったとシニアパワー部会から報告があったが、今の意見はリハビリ体操で少しずつでも活動を広げていったらどうかという提案である。

委員 防災については、災害が発生したとき瞬時に対応することや何ができるかということ、つまり、先ほど宿泊防災訓練の事例紹介があったが、身の回りにあるものでしのぐとする知恵で工夫することが重要だと思う。

シニアについては、老人クラブの運動会で実施されていた体操は、シルバーリハビリ体操に近いと思う。ひざを手でたたいたり、閉じたりと工夫して高齢者向けの体操にしたのだと思う。

高齢者の知恵は長い間継続してきて得た経験の中で工夫したものだと思う。高齢者が

これまでに経験してきたことなどを取り上げる場をつくることもコミュニティの1つだ
と思う。防災にしても、市民救命士についての意見があったが、救命は難しくないよう
なので、周りの人が知っていてよかったということがあると思う。

委員 防災について、大きな商店街には常時不特定多数の人が来店しているが、災害が発
生した場合に、はっきりとした対処方法が確認されていないのが現状である。ガラスや
看板が落ちてきて通行人がけがをしたらどうするのか、パニックが起きたらどうするの
か、そういったことを検討して対処方法を示せたらよいと思う。

先ほどシルバーリハビリ体操の事例紹介があったが、これに賛成である。東扇島でス
ポーツ大会を実施してはどうかというシニアパワー部会の報告があったが、これは直接
地域コミュニティの充実につながるのによいと思うが、これにシルバーリハビリ体操を
加えればさらによいと思う。

委員 シルバーリハビリ体操の事例紹介があったが、神奈川県でも3033（さんまるさ
んさん）運動を推進している。これは1日30分、週3回、3カ月継続して運動やスポ
ーツを行いましょうというものである。このような体操があることを、各団体が区民に
周知する必要があると思う。各団体が防災、健康づくり、コミュニティなどのことを広
報して、区民ができることを実施するように、また、区民と行政の協働で実施すべきこ
とは行政に支援してもらい取り組んでいけるように、区民会議の意見を区民に伝えてい
くのが区民会議の趣旨だと思う。

委員 シルバーリハビリ体操の指導士は体育指導員が中心にならないと実施できない事業
だと思う。区民会議の活動体は各委員が関係している団体で、各団体の人に協力しても
らわなければならない。

委員 体育指導員は区民の健康、体育振興などに尽力しているが、ほかにも健康づくりの
分野で活動している団体がある。区民会議がそういう団体にも呼びかけをして、リハビ
リ体操を広めていきたい。

委員 市の担当部署でいうと、リハビリ体操は健康福祉局の管轄である。しかし、川崎区
区民会議がシニアパワー部会を設置して議論しているので、川崎区からリハビリ体操を
発信したいと考えている。試験的に川崎区で実施したところ、結果が良好なので全区に
広がっていったという方がよいと思う。

委員 活動体の作り方であるが、活動できる時間帯の異なるグループが、午前、午後、

夜間と最低3つは必要だと思う。災害はいつ起こるかわからない。午前、午後は若い人は会社で仕事をしているので地域におらず、高齢者が多い。夜間にしか地域に若い人がいないのが実態なので、最低3つのグループをつくらないと防災活動はできないと思う。シニアについても、指導者を養成する会合は、最低でも20時以降でないといふ若い人は集まらない。今、市民館の閉館時間が21時なので、会合を開くことが難しい。市民館や公民館は、例えば0時まで開館しているくらい、体制の抜本的改革が必要だと思う。

委員 シニアについてだが、私は子育て関係のいろいろな会議に出席しているが、子育て支援の人手が足りないという意見があり、ひとりで子育てをしている保護者と子育て経験がある人との接点をつくれないだろうかという意見も多いので、シニアパワーを子育てに結びつけられないかと考えている。子どもは保護者にしかかれても、近所のおじいちゃん、おばあちゃんに褒めてもらったり、慰めてもらったりと声を掛けてもらうことでバランスをとっているのだと思う。今は核家族が多いのでシニア世代の力を地域に向けられたらよいと思う。

区民講座のようなものをつくることを提案する。先ほどシニア世代の教える意欲が高いという意見があったが、そういった人が講師になって区民向けの講座を開いてはどうか。リハビリ体操を広めてもよいし、ほかにもいろいろな力を持っている人がいるので、そういう講座を開いてシニアパワーを地域に還元していくことができないかと思う。シニア世代の人自身が生き生きするような講座とボランティア養成講座のようなものの2種類である。例えば、保育ボランティア養成講座を受けた人が地域の保育を支援したり、海苔の作り方を学校で子どもに教えるボランティアを養成したりといったことである。それには、謝礼などの費用も必要なので行政に支援してもらいたい。

防災についてだが、外国人区民のための地震、防災フェアを実施したことがある。地震を全く経験したことがない国の人もいて、起震車に乗るだけでも怖がったり、煙の中を歩くことも経験したことがなかったり、また、豚汁をつくったが食べられない国の人がいったりと、いろいろなことが経験していく中でわかった。アルファ米の五目御飯の中にも食べられない食材があることを経験した。地域の人がそういうことを知っているといふ災害時に役立つと思った。

委員 防災についてだが、資料には「まずは防災意識の向上を」の欄に自分の避難所を確認すると記載してあるが、避難所の場所だけでなく、細かい内容まで確認していないといふ災害時には何もできないと思う。災害が発生した時に学校、職場、家庭など自分がいる場所に応じた対策を確認する取り組みが必要だと思う。災害時には、身の安全を確保すること、火を消すこと、外へ出ると余震があった場合に瓦などが落ちてくることなどいろいろなことが起こるので、具体的に何を周知徹底しなければならないのかを考える必

要があると思う。

委員 防災についてだが、行政、区民共にいろいろな備えをしているが、知っている人は知っている、知らない人は知らないという状態だと思う。それをもっと工夫しながら広報することが必要だと思う。

地域コミュニティの充実について議論する中で、世代間のコミュニケーションを図ることの難しさを感じているが、その難しさを克服して世代間、地域間の交流やコミュニケーションを図ることが必要だと思う。その1つの方法として、マラソン大会などのイベントを実施し、それをきっかけに子どもから高齢者までの世代間交流、いろいろな地域の地域間交流などができれば、地域コミュニティの充実が図れると思う。

委員 今の委員の意見に賛成である。区民自身があまり川崎区のことを知らない。行政の施策を知っている人は知っているが、知らない人は「音楽のまち」や「アメフトW杯」のことも知らない状態である。どのようにすれば区民に周知徹底することができるのか考える必要があると思う。区民の世代間、地域間交流を図り、シニアに限らず老若男女、子どもや主婦なども含め、区民全体のコミュニティを充実させたいと思う。

防災についてだが、隣近所の連携強化が一番大事だと思うが、先ほど意見があったとおり、昼間、夜間、深夜と時間帯によって地域にいる人が異なるので、中学生、大学生、主婦など、そのとき地域にいる人を活用して地域全体で防災を考えたらよいと思う。

川崎駅周辺は常に大勢の人でにぎわっているが、災害発生時にどのようにすれば助け合うことができるかを考える必要があると思う。

世代間や地域間の交流を図るには、イベントやクイズなど区民全員が考えるようなことをするとよいと思う。

委員 私自身が自分の避難場所を知らなかった。地域でも避難場所を示す表示をあまり見かけない。そこで、町内会の案内板に「この町内は災害時ここに避難する」といった表示をしたらよいと思う。

地域防災部会で「備える。かわさき」という小冊子が資料として配布されたが、よくまとまっていてよいと思う。今年の4月にごみの収集日に変更になったが、ごみの分け方や出し方をまとめたものが各世帯に配布されたので、同様に防災のポイントを3、4ページにまとめたものを全世帯に配布するとよいと思う。

シニアパワー部会長 シニアパワー部会の審議の補足説明をする。マラソン大会を開催してはどうかという意見があったと報告したが、マラソンなどのイベントはあくまでも1つの手段で、ウォーキングでも何でもよい。要は区民が楽しみで集まる場を設定し、そ

こに子育てやりハビリ体操などさまざまな団体が参加する。団体を区民に直接紹介する場づくりが必要だという考えである。

地域の若い世代が立ち上げたかわさき楽大師というイベントがある。まだ、歴史は浅いが回を重ねるごとに地域に浸透しており、コミュニケーションが取れてきている。かわさきハロウィンも今では仮装する人が3,000人も集まり、募集を止めるくらいだが、第1回を開催したときはよい評価ではなかった。それが地域の振興になり、吸引力になっているので、そういうことがイベントの持つ大きな意義だと思う。そういう視点でイベントをとらえて欲しい。

委員長 各委員から貴重な意見、提案があったが、地域コミュニティの充実に真剣に取り組んでいる現われだと思う。

普段は最後にだが、今日はここで参与に意見を聞かせていただきたい。

参与 川崎区民会議は将来に希望が持てる議論がされている。それは、地域の団体の代表を務めている人を委員として選考したという特徴があるからだと思う。

防災についてだが、最近では町内会、小・中学校などで防災訓練が開催されているが、地域の防災訓練を広げていくことが大切だと思う。神奈川県には障害を持っている人が約22万人いる。目の不自由な人、耳の不自由な人など障害を持っている人もさまざまなので、防災訓練に参加してもらい、災害時の対応をしっかりと確認しておく必要があると思う。区民からも同様の意見をいただいている。

シニア世代については、シニア世代の活用と地域防災の取り組みが連携して実施されれば、うまくコミュニティが形成されていくと思う。取り組みを実施する際に中心となるのは町内会なので、行政も町内会に区民会議の趣旨や審議内容を伝えることが大切だと思う。

委員からりハビリ体操についての事例報告があり、また、神奈川県にも3033運動があるという報告もあった。最近では区民の健康管理に対する関心が高い。私もこの3033運動をもっと推進していったらよいと思う。

冒頭の区民会議の取り組みの紹介で、アメフトに関連して川中島中学校の生徒が川崎球場周辺を花で飾ったという報告があったが、富士見中学校周辺でも地域の町内会の婦人部の人々が四季折々の花を植える活動をしている。県立川崎高校でも地域の町内会が学校の外周に花壇をつくって花を植えた。学校の花いっぱい運動は、ほかにもいろいろな学校で取り組んでいる。市教育委員会職員に区民会議を傍聴してもらい、これらの取り組みを知ってもらうことも大切だと思う。

川崎駅東口周辺は、違法駐輪ができないくらい花が植栽されていたり、ホームレスも最近ではたむろしなくなったりと、行政と区民の協働の取り組みが成果を上げている。心

から敬意を表したい。

参与 防災についてだが、新潟県中越沖地震を視察調査に行った際に阪神・淡路大震災との違いを聞いた。阪神・淡路大震災のような都市型災害の場合は、地域に誰が住んでいるのか把握できていない。特に、参与の意見にあったように災害弱者がどこに住んでいるのかがわからない。新潟県中越沖地震の場合はどこに誰が住んでいるかがわかっていたため、犠牲者が少なく済んだとのことである。川崎では災害弱者をどのようにして把握すればよいのか議会でも議論しているが、個人情報保護法があるため難しい部分がある。

災害はいつ起こるかわからないので、何を準備すべきなのかしっかり検討しておかなければならない。地震を経験したことがない外国人が多いという委員の意見があったが、災害時にはいろいろな問題が発生すると思う。川崎区独特の問題も発生すると思う。それらに対しても、今からもっとしっかり準備をしていかなければならないと思う。そのためにも、各委員の貴重な意見を参考にしたいと思う。

(2) 区民会議集会について

委員長 各委員からいろいろな意見をいただいた。本日の意見を踏まえて具体的な取り組みを、できることから進めていきたいと思う。

参与の意見にもあったが、より多くの区民に課題に取り組んでいただいたり、区民会議を理解してもらったりするため、区民会議集会を開催したいと考えている。前回の全体会議で区民会議集会を開催することについては承認をいただいているので、今日は具体的な内容を審議して欲しい。

事務局から企画案を説明して欲しい。

事務局 < 区民会議集会について(企画案)を説明 >

委員長 企画案について意見を出して欲しい。

委員 田島支所で開催するとのことだが、田島支所周辺には企業が多く、企業は防災に関心が高い。そこで、企業の防災の取り組みを紹介したり、企業の人にも出席してもらったりしたらどうか。

委員長 検討したい。ほかに意見はないか。

〔発言する者なし〕

委員長 当日の役割分担の提案をする。「区民会議制度及びこれまでの経過説明」は、自治基本条例の策定委員でもあった副委員長にお願いしたい。パネルディスカッションのパネリストは昨年度のイメージアップ部会長、子育て支援部会長、今年度の地域防災部会長、シニアパワー部会長にお願いしたい。よろしいか。

〔各委員了承の意を表す〕

12月15日(土)田島支所で第1回川崎区区民会議集会を開催したいと思う。各委員が各団体に声を掛けて、大勢集まるようにしたいと思う。

(3)その他

委員長 議題3その他だが、各委員から議題として取り上げたいものはあるか。

〔発言する者なし〕

委員長 なければ、事務局から川崎区協働推進事業の報告をして欲しい。

事務局 <川崎区協働推進事業を説明>

委員長 川崎区協働推進事業について、意見があれば後ほど個別に事務局までお願いしたい。

各委員から貴重な意見をいただき感謝する。これで本日の議事は終了する。

4 閉会

事務局 <区ホームページでの会議録の公開、市政だより川崎区版への記事掲載、タウンミーティングの開催、アメフト市民招待試合とXリーグ観戦案内を説明>

区長 <お礼を述べる>

午後 8時37分 開 会